FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2017 月刊　5月号　第317号

平成３年１月創刊

社会福祉法人 滴翠会

第４１回創立記念式典・第２４回ぼたんまつり

第41回創立記念式典・第24回ぼたんまつりの開催

４月29日に救護施設慈翠舘グラウンドにおいて社会福祉法人滴翠会第41回創立記念式典と第24回ぼたんまつりが開催されました。晴天に恵まれ、利用者様とご家族様と地域の皆様など３００名が出席されました。

式典では、高木会長の式辞のあと、各施設長より事業報告と運営方針が話されました。また、永年勤続者の表彰や利用者への記念品が会長より贈呈されました。

アトラクションは、桂米多朗師匠による落語や南京玉すだれが披露され、会場は大きな笑いに包まれました。その後、模擬店や牡丹の鉢植え販売を行いました。利用者もご家族との談笑や牡丹の鑑賞など楽しい一日となりました。

滴翠会は、創立50年に向けてスタートしました。今後も期待感、緊張感、不安感を常に持って地域福祉と共に施設運営を進めて参ります。

●養護老人ホーム
滴翠苑（てきすいえん）だより
かすみがうら市横堀四五一―五
TEL　〇二九九―五九―三六三一

会長から記念品贈呈

社会福祉法人滴翠会創立41周年
記念式典・第24回ぼたんまつり

4月29日慈翠舘グラウンドで創立41周年記念式典と第24回ぼたんまつりが行われました。滴翠苑から利用者27名、家族8世帯12名の方が式典に出席されました。当日は快晴で式典日和となりました。

式典で永年勤続の表彰が行われ、滴翠苑から栄養士が勤続15年の表彰を受けました。アトラクションは、桂米多朗師匠による落語や南京玉すだれが披露され、大きな笑いで盛り上がり、利用者も楽しまれていました。

そのほかお弁当や模擬店の食事をしながら家族と談笑している姿も見受けられ、穏やかな1日となりました。

滴翠苑職員一同、また気持ちを新たに利用者の快適な生活の支援に努めてまいります。

端午の節句

5月2日、集会室で端午の節句を行いました。ステージには、兜と鯉のぼり、季節のお花である藤とあやめの造花が飾られ、色鮮やかでした。

まず皆さんで「鯉のぼり」を合唱し端午の節句が始まりました。余興ではボウリングゲームを行いました。倒したピンの数に応じてお菓子の景品が出るということで皆さん力を込めて投げられ、会場は盛り上がりました。また、カラオケも行いました。今回は男性のお祝いの日なので、女性の利用者が自慢のカラオケを歌って、端午の節句を盛り上げて下さいました。

昼食には皆さん大好きなカツオのお刺身が出され、ほとんどの方が美味しいと完食されました。

最後に男性の利用者全員で記念写真を撮りました。

レストランに於いて

食べ歩き会

皆さんが心待ちにしていた行事が、1班2班に分かれ2日間かけて行われました。

1班は4月11日、朝からあいにくの雨、見頃を迎えていた桜は車窓からの鑑賞になってしまいましたが、雨の中の桜も綺麗でした。

レストランでは、前もって各自好きなメニューを選んでいましたが、それがいざ目の前に運ばれてくると皆さん笑みがこぼれ、たちまち完食され「美味しかった」との声も聞かれ、満足された様子でした。

ショッピングセンターでは、お茶菓子や日用品など思い思いに買物され皆さんの顔は満足感がありました。公園での散策を楽しみにされていた方からは「雨で残念だった」という声も聞かれました。

2班は4月13日、天気は快晴、車窓からは、どこを走っても春爛漫の風景で絶好のドライブ日和となりました。

レストランでは、美味しそうに完食され、「美味しかった」と話してくださいました。

その後は公園へ車で移動し、短い距離でしたが散策して桜を楽しみました。最後に桜をバックに集合写真を撮影しました。

食べ歩き会は皆さん楽しまれ、刺激にもなったと思うので良かったです。また来年も綺麗な桜を見られる事を祈っています。

5月の行事

端午の節句	5月2日
花まつり	5月8日
遠　足	5月12日
お誕生日	5月30日

●救護施設

慈翠舘だより

石岡市半ノ木一一一四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

アトラクション

創立記念式典・ぼたんまつり

4月29日、慈翠舘のグラウンドで滴翠会創立41周年記念式典と第24回ぼたんまつりが開催されました。当日は朝から晴天に恵まれて、気持ちの良い式典を迎える事が出来ました。式典には来賓の方や利用者のご家族などたくさんの方に出席して頂きました。会長はじめ各施設長から祝辞があり、皆さん真剣に話を聞いてました。

式典の後には、アトラクションで落語家の桂米多朗師匠が落語や南京玉すだれで会場を盛り上げて下さいました。特に慈翠舘の職員2名と一緒に行った玉すだれでは、職員が上手くあつかえず、利用者の皆さんから笑い声がこぼれていました。また、模擬店もほとんど完売となり大盛況でした。

笑顔あふれる楽しいぼたんまつりになりました。来年も楽しみですね。

総合健康診断

慈翠舘では、4月20日に総合健康診断が行われ、利用者・職員全員が受診しました。利用者の方の中には健康に関して関心の高い方もいらっしゃり、神妙な面持ちで臨まれました。

近年、日本人の食生活の変化や運動不足によって生活習慣病の方の増加傾向が見受けられます。健康状態を把握することにより、病気の早期発見や早期治療が可能となります。

また、日々の運動も健康維持の為に効果的です。作業やリハビリ運動に参加する事で筋力維持や気分転換等の効果が期待されます。

利用者の皆さんが元気に楽しい生活が送れるよう、これからも健康管理をしっかりと行い、支援していきたいと思います。

食　事　外　出

レクリエーション同好会食事外出

4月19日、レクリエーション同好会のメンバーで市内のレストランへ食事に行きました。

入店すると、お店の方がすでに準備をして待っていてくれました。事前に利用者達が電話で予約をしていた為スムーズに席に座る事が出来ました。レクリエーション同好会は自分の力でやろう、という目標がある為、電話での予約やファックスの送信等も利用者自身がほぼ全て自分でやります。

早速ミックスフライ定食やお寿司、豪華な御膳等おいしそうな料理が皆さんの前に運ばれてきました。食事をしながら楽しいひと時を過ごしました。

食事の後の会計も自分達で行います。皆さん口々に、「美味しい物を食べられて良かった」「次回はもっとボリュームのあるのを注文しようかな」と大変満足された様子で会話をされていました。

総社神宮参拝

平成29年4月6日、市内にある常陸國総社宮へ参拝に行って来ました。

本来、「初詣」で1月に行くのですが、インフルエンザ等の感染症対策の一環として暖かくなってからの参拝となりました。

参加された皆さんはとても心待ちにされていた様で、出発前からそわそわしながらも、笑顔であふれていました。総社宮に着いてからは一転、真剣な顔で今年一年の幸せと健康を願う姿がありました。

年に一度、総社宮を参拝し、気持ちを新たに生活出来るというのは私達にとっても非常に喜ばしい事です。

✤5月の行事

はなまつり	5月8日
ハイキング	5月9・11・16日
誕生会	5月18日
春季運動会	5月29日

●特別養護老人ホーム
明翠苑（めいすいえん）だより
石岡市半ノ木一一四八一―一
TEL〇二九九―二三―九六二〇

家　族　懇　談　会

ぼたんまつり

4月29日、滴翠会創立41周年記念式典と第24回ぼたんまつりが盛大に開催されました。

当日は、とても暖かく快晴で、利用者のご家族など多くの皆様に参加して頂きました。

式典では、会長から利用者の皆さんへ記念品が贈呈されました。アトラクションでは、桂米多朗師匠による落語と、職員も特別参加して南京玉すだれが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

祝宴では明翠苑特製のお弁当のほか、模擬店の「お焼き」「コロッケ」「唐揚げ」などをご家族と一緒に召し上がり、久々に団欒を楽しまれ、和気あいあいとした祝宴となりました。

おかげさまで明翠苑は36周年を迎えることができました。これからも、皆様の期待に応えられますように一層精進してまいります。

家族懇談会

ぼたんまつりの祝宴のあと、明翠苑で家族懇談会が行われました。

まず平成28年度の基調報告が行われ、入退所者状況・平均介護度・年齢構成などが報告されました。

次に、明翠苑で毎月行っている行事などの写真を皆様にお見せして行事の様子などを説明しました。

施設長からは2月中旬から下旬にかけて発生したインフルエンザの説明がありました。2月中に感染拡大は止まり、辛い重篤な方はいませんでしたが、大事をとって3月末まで面会を制限させていただきました。高齢者が感染症に罹ると重症化する恐れがあります。例年同様感染症予防対策を講じておりましたが、この教訓を今後に活かしていきたいと考えております。

お忙しい中ご出席下さいましたご家族の皆様、誠にありがとうございました。

ふぁみりー通信

４月の出来事

４月３日　「座談会」が開かれ今月の予定を説明し、利用者からの要望などを伺いました。
４月４日　「お花見」を行いました。桜を見ながら、カラオケや体操をしてひと時の時間を楽しまれました。利用者からは「とても桜が綺麗」という声がたくさん聞かれました。
４月11日　ふらんす亭喫茶を開きました。皆さん好みの物を注文して、召し上がっていました。一番人気は、調理員特製の抹茶ようかんでした。
４月17日　ふらんす亭食事が行われ、天津丼セット、鯖の味噌煮定食、スパゲティミートソースセット、フレンチトーストセットの中から、好みのメニューを選び「とても美味しい」と召し上がっていました。
４月29日　「創立記念式典・ぼたんまつり」を開催しました。滴翠会各施設の利用者とそのご家族、関係者が一堂に会し、ひと時の時間を過ごしました。たくさんの方に出席して頂き、ありがとうございました。

明翠苑ニュース

（４月分）

面　会	66件	延110名来苑
外　出	３件	外泊０件
ショートステイ	７名	延48日利用
ボランティア		
売店ボランティア	１名１日来苑	
北浦団地ボランティア	３名１日来苑	

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

総合定期健康診断

今回は、「総合定期健康診断」について紹介したいと思います。

明翠苑では、利用者の体調によってその都度医療機関へ受診にいきますが、年に一度利用者と職員全員を対象とした「総合定期健康診断」を５月に行っています。

健診を専門とする健診機関の方が検査機材を持ち込み、準備が整いしだい健診が始まります。利用者の検査内容は、血液、尿、心電図、胸部レントゲンです。特に、胸部レントゲンは車椅子に座ったままでも、ベッドに寝た状態でも、寝たきりの利用者でも撮影することが出来るので、利用者の負担も軽減されます。

尿検査で、オムツを使用している利用者の尿を採取する時はオムツ交換の際に酒精綿を入れて次のオムツ交換の際取り出すという方法で行います。うまく採取できないこともあるので２、３日かけて採取し、冷蔵庫に保管しておきます。

また職員も血液、尿、視力・聴力、聴診を実施します。

健診結果は１ヶ月ほどで届きます。定期健診によって思わぬ異常が見つかることもありますので、異常のある場合はご家族様に連絡をし、結果をお伝えしています。そして速やかに病院での精密検査などの対応をしています。

レクリエーションお花見

●デイサービスセンター

華翠会館だより

石岡市半ノ木一一四八〇
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

デイサービス日誌　4月12日（水）

利用者数　　7名（男2名　女5名）
レクリエーション　風船バレーボール

今日は、風船バレーボールを行いました。チームに分れて椅子に座り、間にテーブルを挟んでネットの代わりにしました。風船が下に落ちてしまったら負けてしまいます。レクリエーションが始まるとアタックを打つ人がいたり、風船が落ちないように一生懸命風船を叩いて夢中になって楽しんでいました。勝ったチームの方も負けたチームの方もとても満足そうでした。

デイサービス日誌　4月14日（金）

利用者数　　8名（男2名　女6名）
レクリエーション　花見

今日は、満開の桜を見にグラウンドに移動し花見をしました。歩ける方はベンチに座り、車いすの方は桜の木の下に行って満開の桜を観賞しました。職員や皆さんで桜を見ながら歌を歌ったり、会話を楽しんだり、風が吹くと桜の花びらが舞うのを見て喜んだり、とても楽しい時間を過ごし「来年もこの桜を見るために長生きしよう」という声が聞こえてきました。

デイサービス日誌　4月18日（火）

利用者数　　10名（男3名　女7名）
レクリエーション　かつらじゃんけんリレー

今日は、チームに分れてかつらじゃんけんリレーというゲームを行いました。まず先頭の人がかつらを被り相手チームとじゃんけんをし勝ったらかつらを次の人に回し、早くかつらを回したチームが勝ちというルールです。じゃんけんに勝たないとかつらを脱ぐことはできません。普段見ない皆の姿に大笑いして、こんなに笑ったのは久しぶりだと涙を流して大笑いしていました。

デイサービス日誌　4月29日（土）

利用者数　　11名（男1名　女10名）
レクリエーション　創立41周年式典・第24回ぼたんまつり

今日は良い天気に恵まれ、創立41周年記念式典とぼたんまつりが開催されました。皆さんとても楽しみにされていた行事で、アトラクションでは、落語家・桂米多朗師匠の落語を鑑賞されました。とても面白いお話に耳を傾け、大笑いして喜んでいました。最後に南京玉すだれを鑑賞しました。歌に乗って南京玉すだれがいろんな形になっていくのを見て楽しみました。皆さんから「また来年も楽しみだな」という声が聞こえてきました。

明翠苑居宅介護支援センターだより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六三四

子どもの思い 親の気持ち

親と離れて暮らしている子供はたまにしか顔を見に行くことができません。そしてあるとき親の異変に気づくことがあります。身体的な変化だったり言動の変化だったり、普段見ていないからこそ〝今までの父（母）と違う〟とはっきり感じるかもしれません。そのとき子供は親に対して「何とかしたい」と考えるでしょう。

〝まずは要介護認定を受けようか〟

〝デイサービスに行ってみたらどうだろう〟

〝手すりがあったほうがべんりかな?〟

〝昼間だけでも誰かに見守ってもらえれば安心だ〟

できるだけのことをしたいと考え、役所に相談したり周囲の人のアドバイスを受けて忙しい時間を割いて打ち合わせをして、ようやく介護サービスが受けられるように準備を整えたところ、親の返事は「そんなものは要らない」だとしたら。

子供にしてみれば高齢の親が少しでも安心して暮らせるようにと考えた中での選択です。〝いろいろ段取りしてようやく決まったのに、情けないやらくやしいやらで親の顔を見に行く元気もなくなちゃった〟と怒りと悲しみが混じったなんともいえない感情でいっぱいになってしまいます。

逆に親の立場からしてみたらどうでしょう。〝別に何ともないじゃないか。まだまだ元気なつもりなのにそんな風に見えるのか〟とショックを受けるか〝人の世話にはなりたくない〟と拒否するか…

親の心情として、子供には弱みを見せたくないという気持ちもあるんでしょうか。もちろんそういう考えばかりではないでしょう。子供がしてくれたお膳立てを喜んで受け入れる人もいます。うまくいく割合のほうが多いとも思います。

もしかしたら親のことを心配するあまり、自分の考えで突っ走ってしまったのではないですか。こんな時は時間をかけてじっくり話し合ってみてはどうでしょうか。お互いの気持ちがわかり合えるいい機会になると思います。

ケアマネジャー　井川　由美子

私のMENU（メニュー）

☆メロンのモスコビー

モスコビーとは、果実ピューレと生クリームを混ぜたモスクワ風冷菓です。

●材　料

メロン 250g（皮なし）／上白糖 大さじ1／ダークラム酒 小さじ1
粉ゼラチン 10g／水 60mℓ／グラニュー糖 80g
レモン汁 大さじ１／生クリーム 70mℓ

●作り方

① メロンは皮をむいて、２㎝角に切り、上白糖とダークラム酒をふりかけ、10分程おく、ミキサーでピューレ状にする。
② 粉ゼラチンは、分量の水に振り入れかき混ぜて２～３分おき、ふやかす。
③ 小鍋にグラニュー糖と水を入れひと煮立ちさせる。火からおろし②のゼラチンを加えて溶かし、粗熱を取る。
④ ボウルに③を移し、①のメロンのピューレとレモン汁を加え混ぜる。ボウルの底に氷水をあて、とろりとした濃度がつくまで混ぜながら冷やす。
⑤ 生クリームを軽く泡立て、④に加えて混ぜ、水で濡らした型に流し入れる。冷蔵庫に30分以上入れ冷やす。
⑥ 型から出し器にあける。　滴翠苑 管理栄養士　高田恵美子

今月のことば 25

捲土重来（けんどじゅうらい）

一度失敗した者が、再び勢いを得て進んで来ることをいう。

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム　滴翠苑
救護施設　慈翠館
特別養護老人ホーム　明翠苑
ユニット型特別養護老人ホーム　明翠苑
ショートスティ施設　明翠苑
独立型デイサービスセンター　華翠会館
明翠苑居宅介護支援センター

職員募集中　詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人高木医院
宗教法人時宗華園寺

TEKISUIKAI

社会福祉法人　滴翠会　http://tekisuikai.or.jp/